

<https://www.rakuwa.or.jp>

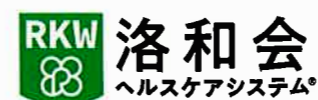
QRコードから
簡単アクセス



ALWAYS FOR HUMANS.

いのちを見つめ、
人間を支える。

洛和会
ヘルスケアシステム
CSR REPORT
2023-2024



やさしい社会を創造する。

医療、介護、保育、教育など、各分野のプロフェッショナルが集結する
洛和会ヘルスケアシステム。

それぞれの職種が持つ技術と誇り。地域に対する無限の感謝。

それらの総合力によって、いのちを見つめ、健康を支え、暮らしに寄り添いながら、
やさしい社会の創造に貢献します。





TOP MESSAGE

日々の活動そのものが、 社会的使命を持っている。

洛和会ヘルスケアシステムは、5つの病院をはじめ、介護施設、保育施設、看護学校など188拠点を運営する、総勢6,441名の組織です。私たちは、提供するサービスそのものが社会的使命を持っているという強い自負のもとに「やさしい社会を創造する」というパーパスを掲げ、日々活動に従事しています。職員一人ひとりの一歩は小さくても、6,441名全員がそれぞれの一歩を踏み出すことで、大きな動きになると信じています。今後とも、決して組織の内部にとどまることなく、私たちの活動に関わるすべての皆さまとともに、社会的責任を果たすことをお約束し、今日も、これからも、歩んでいきます。

洛和会ヘルスケアシステム
理事長 矢野 裕典



おもな活動報告

令和6年能登半島地震の復興支援

2024.1.2

支援対策室を設置

現地状況の共有や今後の方針などを早急に協議しました。

2024.1.4

災害派遣医療チーム「DMAT」出動

京都府の要請を受け、洛和会音羽病院 救命救急センター・京都ERより、医師や看護師などで構成される災害派遣医療チーム「DMAT」が出動(1月7日帰還)。



2024.1.10

支援物資の輸送開始

先に2名の職員が被災地入りし、現地で支援物資を受け入れる体制を整備。約17,000食分の非常食と約900リットルの飲料水を積み込み輸送開始。翌11日、現地に到着しました。



2024.1.17

2回目となる「DMAT」出動

洛和会丸太町病院から医師1名、洛和会音羽病院から医師1名、看護師2名、救急救命士1名、理学療法士1名の計6人を派遣しました(1月22日帰還)。



2024.3.13

音楽療法士による慰問コンサート

洛和会京都音楽療法研究センターの音楽療法士を派遣し、七尾市の恵寿総合病院をはじめとする各所でミニコンサートを開催。

2024.1.9-3.29

看護師を随時派遣(計20名)

このたびの地震で被害を受けられました皆さまには、心からお見舞い申し上げます。
災害でも医療を止めない。そんな思いを持つ現地の病院や介護施設などを支援するべく、これからも私たちにできることを実践していきます。

子育て支援 各種取り組み

- ➔ 男性育児休業の計画的付与制度
- ➔ 子どもの出生時休暇制度の拡充
- ➔ 子どもの看護休暇
- ➔ 出産祝金
- ➔ 保育手当(院内保育料が実質無料)
- ➔ 学童保育手当
- ➔ 家族手当
- ➔ 診療費補助
- ➔ 育児支援助成金制度
- ➔ 入学準備助成金制度
- ➔ シングルマザー・ファザー支援制度
- ➔ ベビーシッター派遣サービス割引券購入制度など



仕事と子育てを両立する職員にとって働きやすい職場環境を整えるべく、様々な子育て支援制度を導入。国が定める制度とは別に男性職員に連続14日間の育児休暇を付与するなど、各種手当・休暇付与などの充実を図りました。

おむつ定期便の実施



2023年11月から、0歳の子どもがいる山科在住の職員の自宅に、毎月定期的に無料でおむつが届く支援策を開始しました。おむつのサイズやメーカーを選ぶほか、私たちが運営する資材センターの職員が配達するので、おむつ代の負担軽減や、買いに行く手間が省けるだけでなく、職員とのコミュニケーションによって、休職中でも職場とのつながりを感じられるという声をいただいています。

健康経営優良法人ホワイト500に認定



経済産業省と日本健康会議が推進する健康経営優良法人認定制度において、特に優良な健康経営を実践している大規模法人として上位500社にランクインし「健康経営優良法人2024 ホワイト500」に認定されました。



受動喫煙防止及び卒煙活動



職員とその家族、そして周囲の皆さんの健康を守るため、積極的に受動喫煙防止及び卒煙活動に取り組んでいます。2023年5月より就業時間中の喫煙を禁止し、敷地内を全面禁煙にしています。2026年3月末までに全職員の喫煙者ゼロを目指しています。

医療アクト対応実績

2023年4月～2024年3月25日の各種データを集計。患者数は延べ人数です。

救急対応件数

救急士  計 **34,597** 件 /

救急車

年間1万件以上
総数 **10,686** 件 /

洛和会丸太町病院 3,861件
洛和会音羽病院 6,825件

ウォークイン

総数 **23,911** 件 /

洛和会丸太町病院 7,599件
洛和会音羽病院 16,312件

年間外来延べ患者数

総数 **459,423** 人 /

洛和会音羽リハビリテーション病院 35,758人
洛和会音羽記念病院 74,315人
洛和会丸太町病院 94,353人
洛和会東寺南病院 6,865人
洛和会音羽病院 248,132人

新規入院患者数

総数 **20,470** 人 /

洛和会音羽リハビリテーション病院 1,150人
洛和会音羽記念病院 2,060人
洛和会丸太町病院 4,872人
洛和会東寺南病院 132人
洛和会音羽病院 12,256人

平均在院日数

洛和会丸太町病院 **9.6** 日 /
洛和会音羽病院 **10.6** 日 /
洛和会音羽記念病院 **11.5** 日 /
洛和会音羽リハビリテーション病院 **61.4** 日 /
洛和会東寺南病院 **109.0** 日 /

※一般病棟のみ

※回復期リハビリテーション病棟

年間手術件数

手術士  計 **12,424** 件 /

洛和会丸太町病院

2,196 件 /
内、全身麻酔手術 **1,903** 件

洛和会音羽病院

8,028 件 /
内、全身麻酔手術 **2,747** 件

洛和会音羽記念病院

2,200 件 /
内、全身麻酔手術 **432** 件

年間透析件数



外来

計 **98,760** 件 /

洛和会音羽記念病院……72,282件
洛和会東寺南病院……16,431件
二条駅前クリニック……10,047件

年間心臓カテーテル件数



検査

計 **2,307** 件 /
洛和会丸太町病院……763件
洛和会音羽病院……1,544件

治療

計 **1,395** 件 /
洛和会丸太町病院……472件
洛和会音羽病院……923件

訪問リハビリ件数



洛和会音羽リハビリテーション病院

19,624 件 /

口腔ケア件数



洛和会音羽病院

12,636 件 /

介護アクト サービス別年間利用者数

2023年4月～2024年3月25日の各種データを集計。施設数は集計当時のもの。患者数は延べ人数です。

在宅サービス



計 **525,963** 件 /

通所介護・ケアマネ

[計 37 カ所]

227,535 件 /

訪問看護

[計 15 カ所]

149,315 件 /

訪問介護

[計 8 カ所]

149,113 件 /

地域密着型サービス



計 **230,066** 件 /

グループホーム

[計 31 カ所]

195,347 件 /

小規模多機能/看多機

[計 6 カ所]

34,719 件 /

施設サービス



計 **443,225** 件 /

介護老人保健施設

[計 4 カ所]

120,604 件 /

特養・地域密着型

[計 6 カ所]

170,643 件 /

高齢者住宅・サ高住

[計 7 カ所]

107,827 件 /

介護医療院

[計 1 カ所]

44,151 件 /

子ども未来アクト 対応実績

2023年4月～2024年3月25日の各種データを集計。



施設数

保育園

計 **11** カ所

児童館

計 **4** カ所

児童園

計 **1** カ所

学童クラブ

計 **2** カ所

月平均利用者数

保育園

463 人

児童館

359 人

児童園

90 人

学童クラブ

182 人

病児保育について

病氣中または、感染症の回復期のお子さんを一時的にお預かりする病児保育も行っています。隣接する音羽病院の小児科による回診もあるので安心です。

健康アクト 対応実績

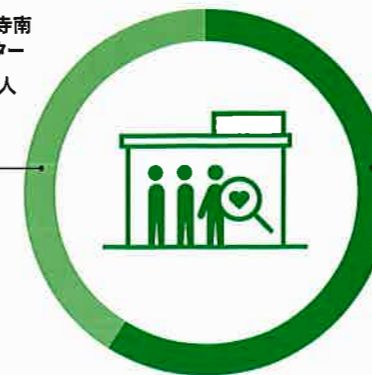
2023年4月～2024年3月25日の各種データを集計。

健康センター年間利用者数

計 **24,062** 人 /

洛和会東寺南
健診センター
9,950人

洛和会音羽
健診センター
14,112人



企業出張(巡回)健診 年間利用者数

計 **63,455** 人 /



企業の健康経営を支援

働く皆さまの健康増進はもちろん、生産性の向上、離職率の抑制、企業イメージの向上に貢献します。

WELFARE BENEFITS

福利厚生の実績

2023年4月～2024年3月25日の各種データを集計。充実した福利厚生制度の積極的な活用を推進し、職員満足度の高い「日本で一番働きたい」ヘルスケアグループを目指します。



リフレッシュ休暇取得率



心身のリフレッシュのために年1回、連続10日間の休暇を取得できます。

有給休暇取得率



育児休業取得率

【参考】2022年度(10月1日時点)における
育児休業取得率の全国平均は、女性80.2%、男性17.13%
※厚生労働省の令和4年度雇用均等基本調査の結果より
(2023年7月発表)

2024年度より、男性の育児休業の計画的付与制度を実施。育児取得率100%を目指し、積極的に取得を推進しています。医師含め2人に1人が取得しています。



子どもの看護休暇取得率



子どもの看護(負傷や疾病にかかった子の世話、予防接種などを含む)のために通常の有給休暇とは別の有給休暇として取得できます。

※3歳未満の子どもをもつ職員は最大10日間/年、小学校卒業までの子どもは最大7日間/年、1時間単位での取得も可能です。

副業・兼業制度利用率



※社外253名 / 社内63名(令和6年4月8日時点)

HUMAN RESOURCES

職員の常勤人数

多様な人材が幅広い事業の中で活躍することで「やさしい社会の創造」を目指しています。



看護部門



技術部門



おもな社会貢献活動(抜粋)

自転車ヘルメット着用促進モデル事業所



京都初となる「自転車ヘルメット着用促進モデル事業所」に指定されました。交通事故による頭部外傷から命を守るため、職員だけでなく地域の方々に対して着用の促進を進めていきます。

9月9日「救急の日」に「救命講習会」を開催



2023年9月9日、救急の日になんで、地下鉄山科駅改札口前にていざというときの心臓マッサージや、ADEの使った救命方法をレクチャーする「救命講習会」を開催しました。

防犯ブザーを小学校の新入生に寄贈



地元の子どもの安全に貢献するため、山科区内の市立小学校の新入学児童に、公式キャラクター「らくの助」が描かれたオリジナルデザインの防犯ブザーを1,000個寄贈しました。

祇園祭にて「子どもステーション」を設置



2023年7月の祇園祭にて「洛和デイセンター四条鉾町」を休憩所として無料開放。保育士が常駐するほか、授乳やおむつ交換場所を設置するなど、親子で安心して楽しめる空間を提供しました。

ドナルド・マクドナルド・ハウスへの寄付



公式キャラクター「らくの助」のグッズおよびLINEスタンプの収益を子どもの治療に付き添う家族のための滞在施設「ドナルド・マクドナルド・ハウス おおさか健都」様へ寄付しました。

四宮川の清掃活動



山科区に拠点を置く法人として地元企業が集う「山科美化推進企業協議会」に参加。毎年5月・10月、山科を流れる河川と遊歩道の清掃活動に私たち職員も参加しています。

パートナーシップ(抜粋)

2024.3.28

京都市山科区と 包括連携協定を締結

2023年1月に見舞われた大雪の影響で、山科区ではJRをはじめとするあらゆる交通機関が機能なくなり、多くの帰宅困難者が駅の地下などで待機を余儀なくされました。その経験を踏まえ、何とか地域のお役に立ちたいという思いで、山科区役所と協議を重ね、自然災害に備える包括連携協定を締結。今後は災害時における避難者の受け入れなど防災面での連携を図るほか、様々な施設や人材を活用していきます。公立病院がない山科区で洛和会音羽病院をはじめとする複数の医療・介護施設を長らく運営してきた立場として、民間でありながらこの地域を支える「災害拠点病院」として、災害時でも平時も緊密に連携を図っていきます。



2023.10.20

京都府交通安全協会との協定締結

生活上自動車を必要とし、運転を楽しむ高齢者を対象に、加齢に伴う機能の低下を考慮しつつ、安全運転を継続するための取り組みとして「ドラとも」というプロジェクトを一般財団法人 京都府交通安全協会が推進しています。このプロジェクトに賛同し、同協会と協定を締結。私たちからは、本プロジェクトに保健福祉士を派遣し高齢者をサポートするほか、京都府交通安全協会は、洛和会ヘルスケアシステムの職員に対して、年2回の安全運転講習を実施していただきます。

2023.7.24

大和大学との業務提携

学校法人西大和学園 大和大学と、大学の学生および私たち職員の育成にもつながるよう、相互に協力して資源の共用や緊密な情報交換などを行うことを目的とする協定を締結。地域医療の発展および次代を担う医療人材の育成を目指していきます。

2023.10.30

モンベルとの業務提携

日本を代表するアウトドア総合ブランドである株式会社モンベルと、アウトドア活動等の促進、医療や福祉などを通じた地域活性、人々の生活の質向上に向けて包括協定を締結。アウトドアとヘルスケアという双方の強みを生かした活動によって、人々の健康増進に貢献していきます。

2024.1.31

ポラリスとの業務提携

超高齢社会の日本における、社会保障制度の持続性確保に向けて、自立支援型デイサービスを運営する株式会社ポラリスとコンサルティング契約を締結。これまで取り組んできた高齢者の自立支援に加え、ポラリスの自立支援型介護メソッドを、洛和デイセンターウラノスに取り入れることで、利用者さんのより一層の在宅生活支援につなげることを目指します。



人材育成について

各種研修で優れた人材を育成



新卒職員は約1週間の研修合宿で仲間との絆を育みます。入社後は医師以外の全職種にお姉さん制度(1人の新人に1人のプリセプター＝指導者)を導入しています。

内外での学会発表をバックアップ



各部署が日々の工夫や研究結果を報告し合う「洛和会ヘルスケア学会」を年1回開催。学会発表や論文執筆には奨励金制度を設けて推奨しています。

充実したリーダー育成制度



リーダーを育成するための管理職研修を中心に、定期的に若手塾を開催するなど、組織の発展を担う人材育成に取り組んでいます。

全職員が救命講習を受講



医療や介護に携わる者として、必要な場面的確な行動ができるよう、全職員が救命講習を受講しています。

福祉人材の育成



私たちが運営する介護事業所などにおいて、介護福祉の領域で活躍できる人材を育成する優れた仕組みがあることを、京都府から認定されています。

表彰制度



MVP賞、MIP賞、ナース・オブ・ザ・イヤーほか、10年勤続奨励金制度、永年勤続表彰制度(勤続20年・30年・40年の職員)、善行表彰制度など、職員を表彰する制度が充実しています。

洛和会TQM支援センターについて

洛和会TQM支援センターでは、各病院、介護施設、関連会社などで様々な業務課題の改善に取り組んでいます。医療・介護現場はとても忙しく、現場でなければ気づけないムダ・ムリ・ムラが置き去りにされてしまいがちです。それらを解消することで、現場で働く職員や患者さんのより多くの笑顔を生み出していきたいと考えています。



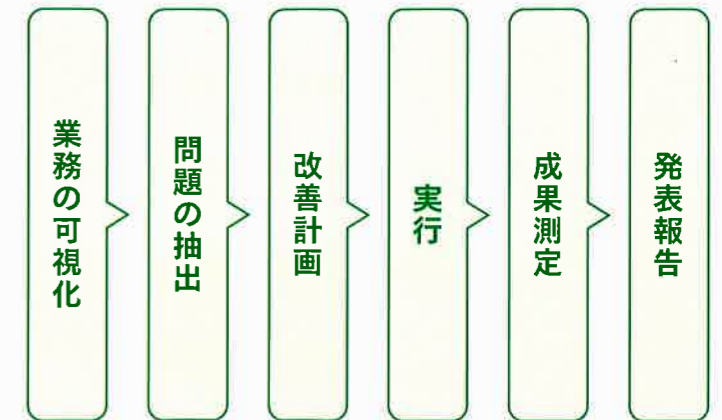
※TQMとは、全員・全体(Total)で、医療・サービスの質(Quality)を継続的に向上させるマネジメント(Management)のこと。

業務改善の視点

※「QC手法(QC=Quality Control)」と呼ばれる手法を用います。



業務改善進行フロー



TOPIC

洛和会丸太町病院が「第9回日総研・接遇大賞」を受賞

2023年12月、優れた接遇マナー・対応サービスを実践している病院や介護施設などを表彰する「第9回日総研・接遇大賞」を、洛和会丸太町病院で業務改善を行うTQM委員会が受賞しました。接遇対応マナーの向上は、医療看護、福祉介護の現場でも重要視されているテーマ。TQM委員会では、職員間の内部接遇向上に重点を置き「接遇改善基本行動セルフチェックシート」を作成。病院全体の接遇改善を促進するために、年代別や全体の平均値を出すなど、職員間のコミュニケーションや連携をより円滑にする取り組みを行いました。その結果、職員の接遇に対する意識が向上し今回の受賞につながりました。受賞に関して担当者は「多職種が協働して取り組み、実践できたことが受賞につながった」と笑顔で語りました。

